

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	人間福祉学部
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 社会福祉、教育、健康、国際援助関連の実践現場や企業において、人間福祉に関する専門的な価値・知識・技術を身につけて働ける人材や、それら領域の研究職を目指す人材を養成する。	→社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験資格合格率、中学校・高等学校教員免許取得者数、公務員試験合格者数、スクール・ソーシャルワーカー修了証発行数、初級障害者スポーツ指導員資格・キャンプインストラクター資格取得者数、福祉・健康・教育関連施設・機関・企業への就職率、福祉・健康・教育国際援助関連NPO・NGO団体への就職率、大学院進学率、社会起業の立ち上げ数。	—	—	B	B	
2. 学部の使命と目的が学部学生や保証人に周知されているか、アンケートを実施し広報活動の効果を測定する。	→報告書の作成。	D	C	C	C	
3. 学部の固有性および特色について定期的に検証する。	→ワーキング/グループの設置と検討回数、および報告書の作成とその公表の部数。	C	B	B	B	
					☆	
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	社会福祉、地域再生、教育、健康、国際援助関連の実践現場や企業において、人間福祉に関する専門的な価値・知識・技術を身につけた人材や、これらの領域の研究職を目指す人材を養成することを目指してきたが、卒業生の進路からこの目標は概ね達成しており就職率も高い。
目標2	学部の使命と目的を学部学生や保証人に周知し、アンケートの実施や広報の効果測定を目標としてきたが、ホームページの活用および教育懇談会を通して理解を得ている。
目標3	学部の固有性および特色について定期的な検証を行うことを目標としてきたが、ホームページを通して周知を図っている。
備考	